甲賀の文化財

草津線の歴史を物語る煉瓦

甲賀市は、県内市町の中で2番目に鉄道駅があるまちで、その数は14駅です。市内にはJR西日本と近江鉄道、信楽高原鐵道の路線があります。

市内で最も早く鉄道が開業したのは現在のJR草津線で、明治23（1890）年のことです。三重県四日市町に本社を置く関西鉄道の路線です。はじめ関西鉄道は、名古屋と京都を結ぶ路線を国に出願したのですが、東海道線と競合するという理由で却下されたため、草津で東海道線に接続する路線で免許を取得しました。草津線は関西鉄道が最初に手掛けた路線なのです。

水口町高山にある草津線国分橋梁は関西鉄道が建設した煉瓦造の橋で、その下を市道が通っています。煉瓦積みはイギリス積みと呼ばれる長手積みと小口積みを一段ごとに繰り返すもので、草津線の駅のホームにも見られる工法です。特徴的なのがアーチの上部にデザインされた関西鉄道の社紋で、当時のまま現存するのはここだけです。国分橋梁の東約300メートルの所には新道橋梁、さらに貴生川駅の東約700メートルの所には御庄野橋梁があり、同時期に造られた煉瓦造の橋梁が貴生川駅をはさんで約2.3キロメートルの間に3つ残っています。この関西鉄道は明治40年に国有化されました。

市内の鉄道の歴史を物語るこれらはいずれも現役で、今日も私たちの安全な旅を支えてくれています。甲賀市史第6巻も合わせてご覧ください。

※お出かけの際は、鉄道用地や私有地へは入らず、安全な場所で観察するとともに、列車の運行や地域の皆様へのご配慮をお願いします。

▲水口町高山にある草津線国分橋梁（北面）

▲甲賀市史全巻

購入方法など詳しくはこちら

問 歴史文化財課　調査普及係　☎ 69-2250　Fax 69-2293

どうする？わが家のこれから

空き家にしないためのヒント

vol.6　空き家を相続したら？

「空き家を相続したので、売りたい・貸したい!でも、何から始めればいいの?」今回は、空き家を相続した後の基本的な流れをご紹介します。

Step①　相続の手続き（名義変更）

親族で話し合った内容を「遺産分割協議書」にまとめ、司法書士などに相談しながら相続登記（名義変更）を行います。

Step②　今後どうするか決める

「売却」か「賃貸」か、その家に合った活用方法を考えます。地域の不動産業者に相談しながら進めると安心です。

Step③　片付ける（家財整理）

家財や仏壇を整理します。自分で進めるほか、専門業者に依頼することもできます。

Step④　いよいよ「売却」「賃貸」へ！

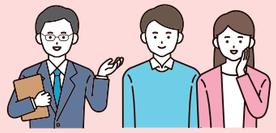
地域の不動産業者などに相談し、安心して任せられる業者を選びましょう。市ホームページでは、空き家バンク協力業者リストを掲載しています。

市HP

ココも大切！

方針が決まっていなくても、空き家の管理は必ず行いましょう!

まだ家財などが片付いていないという段階でも、不動産業者に相談できます。



問 住宅建築課　空家対策係　☎ 69-2214　Fax 63-4601

地域を支える企業 甲賀市消防団協力事業所

日本郵便株式会社水口郵便局
郵便局長：吉嶺　健太郎
所在地：水口町水口5999-1

この地域の一員として

私たち郵便局は「一人ひとりの人生に寄り添う。すべての人の心をあたためる。」という経営理念のもと、地域のみなさんが集う場所、情報発信の拠点となるべく取り組んでいます。

●郵便局ロビーでの無人販売

郵便局が貸し出す商品棚を利用し、地元で生産された農作物等の無人販売を実施していただけます。これまでイチゴや、トマトの無人販売を行ってきました。

●みまもりサービス

お近くの郵便局員が定期的に訪問し、生活の様子をご家族などにお知らせするサービスです。機器類では検知できない、直接お会いするからこそわかる些細な変化に気づくことができるのが強みです。

消防団員の声

『自分たちのまちを自分たちで守る。』このことに消防団員としての強い使命感とやりがいを感じています。

甲賀市消防団協力事業所等表示制度について詳しくはこちら

問 危機管理課　消防係　☎ 69-2104　Fax 63-4619